

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	(仮称)大阪市大正区鶴町冷凍冷蔵物流計画/新築工事				
建設地	大正区鶴町1丁目				
建築用途	倉庫業を営む倉庫				
建築主					
設計者					
敷地面積	21,659.76	㎡			
建築面積	12,073.20	㎡			
延床面積	45,077.62	㎡			
構造/階数	S造	/ 地上4階			
完了年(予定)	2026年10月				

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)																																																					
<div>A</div> <div>BEE =2.5</div> <div>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★</div> <div></div>		<div>★ ★ ★ ★ ★</div> <div>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★</div> <div>標準計算</div> <div><table><tr><th>項目</th><th>建設</th><th>修繕・更新・解体</th><th>運用</th><th>オンサイト</th><th>オフサイト</th><th>スコア</th></tr><tr><td>①参照値</td><td>100%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>100%</td></tr><tr><td>②建築物の取組み</td><td>76%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>76%</td></tr><tr><td>③上記+②以外の</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>76%</td></tr><tr><td>④上記+</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>0%</td><td>76%</td></tr></table><div>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</div></div>		項目	建設	修繕・更新・解体	運用	オンサイト	オフサイト	スコア	①参照値	100%	0%	0%	0%	0%	100%	②建築物の取組み	76%	0%	0%	0%	0%	76%	③上記+②以外の	0%	0%	0%	0%	0%	76%	④上記+	0%	0%	0%	0%	0%	76%	<div><table><tr><th>項目</th><th>スコア</th></tr><tr><td>Q1 室内環境</td><td>0.0</td></tr><tr><td>Q2 サービス性能</td><td>3.8</td></tr><tr><td>Q3 室外環境 (敷地内)</td><td>3.1</td></tr><tr><td>LR1 エネルギー</td><td>4.3</td></tr><tr><td>LR2 資源・マテリアル</td><td>4.0</td></tr><tr><td>LR3 敷地外環境</td><td>3.5</td></tr></table><div>ラベル表示 有</div></div>		項目	スコア	Q1 室内環境	0.0	Q2 サービス性能	3.8	Q3 室外環境 (敷地内)	3.1	LR1 エネルギー	4.3	LR2 資源・マテリアル	4.0	LR3 敷地外環境	3.5			
項目	建設	修繕・更新・解体	運用	オンサイト	オフサイト	スコア																																																			
①参照値	100%	0%	0%	0%	0%	100%																																																			
②建築物の取組み	76%	0%	0%	0%	0%	76%																																																			
③上記+②以外の	0%	0%	0%	0%	0%	76%																																																			
④上記+	0%	0%	0%	0%	0%	76%																																																			
項目	スコア																																																								
Q1 室内環境	0.0																																																								
Q2 サービス性能	3.8																																																								
Q3 室外環境 (敷地内)	3.1																																																								
LR1 エネルギー	4.3																																																								
LR2 資源・マテリアル	4.0																																																								
LR3 敷地外環境	3.5																																																								
2-4 中項目の評価(バーチャート)																																																									
<div>Q 環境品質</div> <div>Q1 室内環境</div> <div>Q1のスコア= 0.0</div> <div><table><tr><th>項目</th><th>スコア</th></tr><tr><td>音環境</td><td>0.0</td></tr><tr><td>温熱環境</td><td>0.0</td></tr><tr><td>光・視環境</td><td>0.0</td></tr><tr><td>空気質環境</td><td>0.0</td></tr></table></div> <div>Q2 サービス性能</div> <div>Q2のスコア= 3.8</div> <div><table><tr><th>項目</th><th>スコア</th></tr><tr><td>機能性</td><td>N.A.</td></tr><tr><td>耐用性・信頼性</td><td>3.3</td></tr><tr><td>対応性・更新性</td><td>4.3</td></tr></table></div> <div>Q3 室外環境 (敷地内)</div> <div>Q3のスコア= 3.1</div> <div><table><tr><th>項目</th><th>スコア</th></tr><tr><td>生物環境</td><td>3.0</td></tr><tr><td>まちなみ・景観</td><td>4.0</td></tr><tr><td>地域性・アメニティ</td><td>2.0</td></tr></table></div> <div>LR 環境負荷低減性</div> <div>LR1 エネルギー</div> <div>LR1のスコア= 4.3</div> <div><table><tr><th>項目</th><th>スコア</th></tr><tr><td>建物外皮の熱負荷</td><td>5.0</td></tr><tr><td>自然エネルギー</td><td>3.0</td></tr><tr><td>設備システム効率化</td><td>5.0</td></tr><tr><td>効率的運用</td><td>3.5</td></tr></table></div> <div>LR2 資源・マテリアル</div> <div>LR2のスコア= 4.0</div> <div><table><tr><th>項目</th><th>スコア</th></tr><tr><td>水資源保護</td><td>3.4</td></tr><tr><td>非再生材料の使用削減</td><td>4.5</td></tr><tr><td>汚染物質回避</td><td>3.3</td></tr></table></div> <div>LR3 敷地外環境</div> <div>LR3のスコア=3.5</div> <div><table><tr><th>項目</th><th>スコア</th></tr><tr><td>地球温暖化への配慮</td><td>3.9</td></tr><tr><td>地域環境への配慮</td><td>3.4</td></tr><tr><td>周辺環境への配慮</td><td>3.2</td></tr></table></div>						項目	スコア	音環境	0.0	温熱環境	0.0	光・視環境	0.0	空気質環境	0.0	項目	スコア	機能性	N.A.	耐用性・信頼性	3.3	対応性・更新性	4.3	項目	スコア	生物環境	3.0	まちなみ・景観	4.0	地域性・アメニティ	2.0	項目	スコア	建物外皮の熱負荷	5.0	自然エネルギー	3.0	設備システム効率化	5.0	効率的運用	3.5	項目	スコア	水資源保護	3.4	非再生材料の使用削減	4.5	汚染物質回避	3.3	項目	スコア	地球温暖化への配慮	3.9	地域環境への配慮	3.4	周辺環境への配慮	3.2
項目	スコア																																																								
音環境	0.0																																																								
温熱環境	0.0																																																								
光・視環境	0.0																																																								
空気質環境	0.0																																																								
項目	スコア																																																								
機能性	N.A.																																																								
耐用性・信頼性	3.3																																																								
対応性・更新性	4.3																																																								
項目	スコア																																																								
生物環境	3.0																																																								
まちなみ・景観	4.0																																																								
地域性・アメニティ	2.0																																																								
項目	スコア																																																								
建物外皮の熱負荷	5.0																																																								
自然エネルギー	3.0																																																								
設備システム効率化	5.0																																																								
効率的運用	3.5																																																								
項目	スコア																																																								
水資源保護	3.4																																																								
非再生材料の使用削減	4.5																																																								
汚染物質回避	3.3																																																								
項目	スコア																																																								
地球温暖化への配慮	3.9																																																								
地域環境への配慮	3.4																																																								
周辺環境への配慮	3.2																																																								
3 設計上の配慮事項																																																									
総合			その他																																																						
大阪府大阪市内に建築される4階建ての工場である。周囲の環境に配慮し、空地部分は積極的に緑化を図っている。			-																																																						
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)																																																					
・評価対象外		・耐用年数の長い材料を使用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 ・高い階高の確保、積載荷重の割増により、対応性に配慮している。		・空地部分を積極的に緑化し、緑による良好な景観形成、及び生物環境の保全に配慮している。																																																					
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境																																																					
・断熱性能の高い建材を採用し、建物外皮の熱負荷抑制に配慮している。 ・LED照明等の高効率な設備機器を導入している。		・節水器具を使用し、水資源保護に配慮している。 ・リサイクル材やユニット部材の採用により、非再生性資源の使用量削減に配慮している。		・燃焼機器の使用を避けて、大気汚染防止に配慮している。 ・周辺への漏れ光に配慮した屋外照明計画としている。																																																					

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 2.5

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.9
配慮事項	LCCO2排出量削減に配慮	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	3.0
Q3 / 3 /3. 2/	敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2. 2/	温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項		

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	5.0
配慮事項	断熱性能の高い建材を使用	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		5.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	5.0
配慮事項	高効率な設備機器を導入	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
（基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BEI][BEIm]
	-（相当）	0.68
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]
	0.59	-
		非住宅部分[BEI][BEIm]
		0.59